

ご あ い さ つ

重複障害に立ち向かう 心臓リハビリテーション

日本心臓リハビリテーション学会第4回北陸支部地方会 大会長
心臓血管センター金沢循環器病院 寺井英伸

このたび、日本心臓リハビリテーション学会第4回北陸支部地方会を開催させて頂くことになりました。今年で4回目となります本学会のお世話をさせて頂くことは身に余る光栄であり、役員の方をはじめご協力頂いた方々に心から感謝いたします。

今回のテーマは、「重複障害に立ち向かう心臓リハビリテーション」としました。臨床の場において、心疾患単一の患者さんはむしろ稀で、ほとんどの方が複数の疾患を併せ持つことが多いかと思えます。例えば動脈硬化が進行すれば狭心症、心筋梗塞などの心疾患だけではなく脳梗塞、閉塞性動脈硬化症などを併発しやすいことはよく知られています。その重複障害に対しては、動脈硬化性疾患として包括的な把握が必要であることは言うまでもありません。また動脈硬化のみならず、心臓と肺、心臓と腎臓などの併発疾患についても考える必要があります。すでに心不全とCOPDが高頻度に併存しその予後が悪いことは多くの研究で報告されております。また、心不全と腎機能低下の合併においても1/3程度あり心腎連関症候群という概念は注目されている病態の一つであります。

超高齢化においてこれら重複障害は今後も高頻度となると推測されます。心臓リハビリテーションの基本的なプロトコルは確立しているものの、重複障害の患者さんにおいては個々に合わせた対応が必要とされます。そのためには、まずは心疾患のみならず心疾患以外の併存疾患における病態の理解を深め、更に心疾患に対する相互作用への知識を持つ必要があり、心臓リハビリテーションはそのうえで進められるべきものと思われます。

この大切なテーマの知識を深めるため、今回著名な先生方を講師に迎え教育講演を企画させて頂きました。動脈硬化性疾患、呼吸器疾患、腎疾患の3つの病態臓器に注目しそれぞれのスペシャリストの先生からご解説頂く予定です。

また、これらの課題には心臓リハビリテーションのみならず医療ソーシャルワーカーの役割も大きく、社会的資源の活用についての講演や心不全患者さんにおける人生の締めくくりに、家族や医療・ケア関係者等がどのように寄り添うかといったところまで踏み込んで議論できればとシンポジウムを企画しました。

本学会が今回参加される皆様方において今後の治療に有意義な場となり、それが患者さんへより良い治療につながることを願っております。

石川県地場産業振興センター

案内図

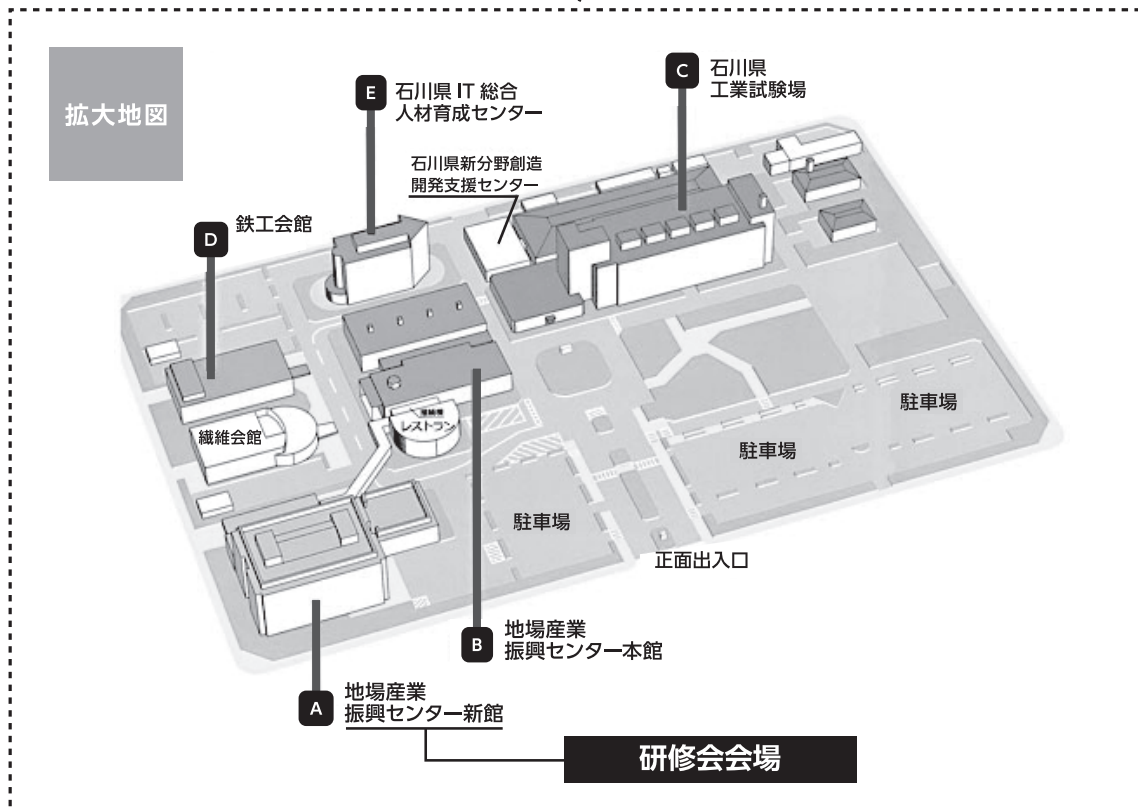
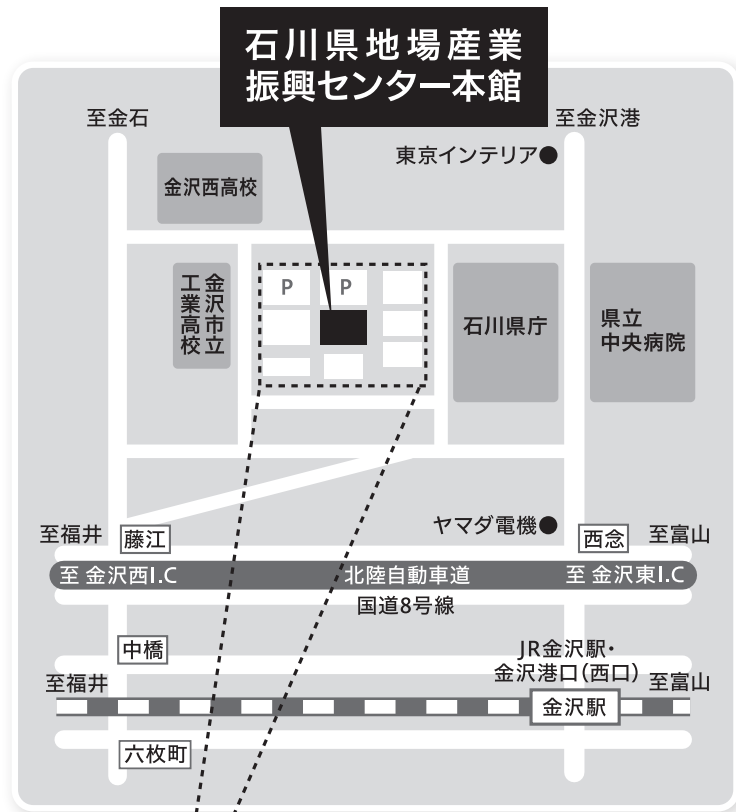
【交通案内】金沢駅から約4km

●タクシーご利用の方

JR 金沢駅・金沢港口(西口)より約10分

●バスご利用の方

JR 金沢駅・金沢港口(西口)より約20分
 金沢駅西口6番乗り場「工業試験場行」
 または「消費者支援センター行」乗車
 「工業試験場」下車





日本心臓 リハビリテーション学会 第4回北陸支部地方会

| 日 時 | 平成30年10月27日(土) 10:00~17:10

| 会 場 | 石川県地場産業振興センター 新館 コンベンションホール・第10研修室

	第1会場 新館1階 コンベンションホール	第2会場 新館2階 第10研修室
9:30	開 場	開 場
10:00	開会挨拶 大会長 寺井 英伸 (心臓血管センター金沢循環器病院)	
10:05	10:05 ~ 10:55 【教育講演Ⅰ】 [Polyvascular Disease に対する心臓リハビリテーションの意義] 座長：石川県立中央病院 循環器内科診療部長 安田敏彦 演者：福岡山王病院循環器センター長 国際医療福祉大学教授 横井 宏佳 (協賛/アポットバスキュラージャパン株式会社)	ポスター掲示
11:00	11:00 ~ 12:10 【一般演題 1】 座長：〇-1 ~ 〇-5 厚生連高岡病院 診療部長兼 CCU 部長 桶家 一恭 〇-6 ~ 〇-10 やわたメディカルセンター 理学療法士 酒井 有紀	11:00~11:40 【ポスター発表 1】 座長 /P-1 ~ P-6 金沢大学附属病院 循環器内科 助教 薄井荘一郎
12:00	12:15 ~ 12:40 【特別企画Ⅰ】 [入退院を繰り返す単身高齢者のソーシャルサポート支援] 座長：富山県立中央病院 内科部長 音羽 勘一 演者：心臓血管センター金沢循環器病院 地域医療相談室長 島野麻里子	ポスター掲示
昼 食(12:00~「芝寿し」を販売いたします) 評議員会(12:50~)		
13:00	13:20 ~ 14:10 【教育講演Ⅱ】 [心臓リハビリテーションにおける呼吸管理の重要性] 座長：福井大学医学部 循環器内科学教授 冨田 浩 演者：KKR 高松病院 心臓血管病センター循環器内科副部長 松元 一郎 (協賛/フクダライフテック北信越株式会社)	
14:00	14:15 ~ 15:25 【一般演題 2】 座長：〇-11 ~ 〇-15 福井済生会病院 内科部長 前野 孝治 〇-16 ~ 〇-20 厚生連高岡病院 理学療法士 笹谷 勇太	14:15~14:45 【ポスター発表 2】 座長 / P-7 ~ P-11 福井循環器病院 理学療法士 清水 浩介
15:00	15:30 ~ 16:20 【教育講演Ⅲ】 [重複障害時代の心臓リハビリテーションの役割：心腎連関を中心に] 座長：富山県立中央病院 医療局長・部長 白田 和生 演者：東北大学大学院医学系研究科 内部障害学分野教授 上月 正博 (協賛/第一三共株式会社)	
16:00	16:25 ~ 17:05 【特別企画Ⅱ】 [心不全に対する緩和ケア] 座長：やわたメディカルセンター 院長 勝木 達夫 コメンテーター：石川県立中央病院 リハビリテーション部 上坂 裕充 コメンテーター：石川県立中央病院 看護師 柴田由美子 演者：心臓血管センター金沢循環器病院 CEO 名村 正伸 演者：心臓血管センター金沢循環器病院 看護師 木村 智美 演者：心臓血管センター金沢循環器病院 リハビリテーション部 田中 良亮	ポスター掲示
17:05	閉会挨拶 次年度大会長 白田 和生 (富山県立中央病院)	【企業展示】 ・フクダライフテック北信越株式会社



プログラム

教育講演 I // 10:05 ~ 10:55

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

協賛 / アボット バスキュラー ジャパン株式会社

「Polyvascular Diseaseに対する心臓リハビリテーションの意義」

座長：石川県立中央病院 循環器内科

診療部長 安田 敏彦

演者：福岡山王病院循環器センター長

国際医療福祉大学教授 横井 宏佳

教育講演 II // 13:20 ~ 14:10

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

協賛 / フクダライフテック北信越株式会社

「心臓リハビリテーションにおける呼吸管理の重要性」

座長：福井大学医学部 循環器内科学教授 冨田 浩

演者：KKR高松病院 心臓血管病センター

循環器内科副部長 松元 一郎

教育講演 III // 15:30 ~ 16:20

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

協賛 / 第一三共株式会社

「重複障害時代の心臓リハビリテーションの役割：心腎連関を中心に」

座長：富山県立中央病院 医療局長・部長 白田 和生

演者：東北大学大学院医学系研究科

内部障害学分野教授 上月 正博



特別企画 I // 12:15 ~ 12:40

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

「入退院を繰り返す単身高齢者のソーシャルサポート支援」

座長：富山県立中央病院 内科部長 音羽 勘一
 演者：心臓血管センター金沢循環器病院
 地域医療相談室長 島野麻里子

特別企画 II // 16:25 ~ 17:05

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

「心不全に対する緩和ケア」

座長：やわたメディカルセンター 院長 勝木 達夫
 コメンテーター：石川県立中央病院 リハビリテーション部
 理学療法士 上坂 裕充
 コメンテーター：石川県立中央病院 看護師 柴田由美子

1. 症例提示

体外式VAD非適応とされた比較的若年DCMの1例

演者：心臓血管センター金沢循環器病院 CEO 名村 正伸

看護師の立場から

演者：心臓血管センター金沢循環器病院 看護師 木村 智美

心リハの立場から

演者：心臓血管センター金沢循環器病院 リハビリテーション部 理学療法士 田中 良亮

2. 症例総括

心不全に対する緩和ケアについて

～緩和ケアとしての心臓リハビリテーション～

演者：心臓血管センター金沢循環器病院 CEO 名村 正伸



一般演題 1 // 11:00 ~ 12:10

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

座長：厚生連高岡病院 診療部長兼CCU部長 桶家 一恭

0-1 | 冠動脈疾患患者における酸素摂取量と骨格筋量の相関について演者：射水市民病院
リハビリテーション科 宮地 竜也**0-2** | 心臓血管外科術後患者における心肺運動負荷試験と心機能との関連性演者：心臓血管センター金沢循環器病院
リハビリテーション部 小村 幸則**0-3** | 心血管疾患合併フレイル患者に対する心臓リハビリテーションの効果演者：済生会富山病院
リハビリテーション科 松下 一紀**0-4** | 糖尿病患者の運動療法にフラッシュグルコースモニタリング(FGM)を活かす演者：特定医療法人社団勝木会 やわたメディカルセンター
診療技術部検査課 坂下真紀子**0-5** | BMI60以上の高度肥満心不全患者に対する心臓リハビリテーションの経験演者：石川県立中央病院 医療技術部
リハビリテーション室 上坂 裕充



一般演題 1 // 11:00 ~ 12:10

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

座長 : やわたメディカルセンター 理学療法士 酒井 有紀

0-6 | 心不全患者におけるハイフローセラピーの
短時間使用がもたらす即時効果の検証演者 : 心臓血管センター金沢循環器病院
リハビリテーション部 田中 良亮**0-7** | 自転車エルゴメータによる運動療法で
上肢筋肉量は増加する

演者 : 富山県済生会富山病院 臨床検査科 中川 夏輝

0-8 | ICU早期リハビリテーションパス導入に向けた取り組み

演者 : 富山県立中央病院 大居 淑恵

0-9 | 当院の心臓リハビリテーションを行った
患者における睡眠時無呼吸症候群の現状

演者 : 心臓血管センター金沢循環器病院 藤田 主税

0-10 | 左室補助人工心臓植込み例に対する
補助人工心臓パラメータ監視下での心肺運動負荷試験の経験演者 : 福井循環器病院
リハビリテーション科 清水 浩介



一般演題 2 // 14:15 ~ 15:25

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

座長：福井済生会病院 内科部長 前野 孝治

| 0-11 | 高齢心不全患者の起立動作獲得可否に及ぼす因子の検討

演者：国立病院機構金沢医療センター 尾形 和隆

| 0-12 | 当院における心不全再入院患者の特徴

演者：福井赤十字病院 リハビリテーション科
佐藤 祐一

| 0-13 | 当院における後期高齢心不全入院患者の特徴

演者：富山赤十字病院 勝田 省嗣

| 0-14 | 心不全の再入院率低下に向けた
セルフケア能力向上への取り組み

演者：富山県立中央病院 大工 真人

| 0-15 | 心不全患者の再入院予防についての検討

演者：黒部市民病院 リハビリテーション科
松島ひかり



一般演題 2 // 14:15 ~ 15:25

場所 / 第1会場
(新館1階 コンベンションホール)

座長：厚生連高岡病院 理学療法士 笹谷 勇太

0-16 | 当院心不全患者における6カ月以内の再入院に関する要因
— 再入院に関する要因の検討とその後の対策 —

演者：JCHO高岡ふしき病院 リハビリテーション科

坂井 俊介

0-17 | 心臓リハビリテーション室兼務看護師の
不安の軽減への対策

演者：心臓血管センター金沢循環器病院 看護部

舟橋 博美

0-18 | 心不全患者における緩和ケア導入に向けての取り組み

演者：富山市立富山市民病院 看護部

加藤美加代

0-19 | 当院における多職種連携による
心大血管術後リハビリテーションの取り組みについて

演者：富山赤十字病院 リハビリテーション科

中島 健太

0-20 | 高齢心不全患者における訪問リハビリテーション
～石川県高度・専門医療人材養成支援事業の報告～

演者：訪問看護ステーション リハケア芦城

岩佐 和明



ポスター発表1 // 11:00 ~ 11:40

場所 / 第2会場
(新館2階 第10研修室)

座長：金沢大学附属病院 循環器内科 助教 薄井 荘一郎

P-1 | 重複障害・フレイルを合併する重症心不全患者への
外来心臓リハビリの有用性演者：市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター
山本友佳子**P-2** | 脳梗塞を併発した急性大動脈解離術後患者の
回復期リハビリ病棟での介入経験

演者：金沢赤十字病院 池谷 亮

P-3 | 終末期心不全患者2事例の在宅療養への検討

演者：射水市民病院 中田千鶴子

P-4 | 当院で実施している急性大動脈解離の
保存的リハビリテーションプログラムの紹介演者：金沢大学附属病院 リハビリテーション部
出口 清喜**P-5** | 致死的不整脈出現後もリハビリテーションを継続し、
歩行退院させることができた高齢者慢性心不全患者の1例演者：福井県済生会病院 リハビリテーション部
板倉 史晃**P-6** | 大量ガンマグロブリン療法が有効であった
劇症型心筋炎に対して長期間経過観察可能であった1例

演者：金沢大学附属病院 循環器内科 竹田 悠亮



ポスター発表2 // 14:15 ~ 14:45

場所 / 第2会場
(新館2階 第10研修室)

座長：福井循環器病院 理学療法士 清水 浩介

P-7 | 高強度インターバルトレーニングが
運動耐容能の改善に有用であった1症例演者：富山県済生会富山病院 リハビリテーション科
小中 亮介**P-8** | 外来での塩分・水分管理に難渋した心不全症例演者：福井大学医学部附属病院 リハビリテーション部
鯉江 祐介**P-9** | 多職種連携により外出を実現できた末期心不全患者の1例

演者：富山県済生会富山病院 高場日奈子

P-10 | 腹臥位でのレジスタンストレーニングが
有効であった肺高血圧症の1例演者：金沢医科大学病院 医療技術部
心身機能回復技術部門 リハビリテーションセンター
前田 大忠**P-11** | 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症の1例演者：金沢医科大学 心身機能回復技術部門
戸田 悠介